

弓野の市

10月21日（日）

今朝は恒例の楼門朝市。今日も多くの皆さんで賑わいました。楼門朝市終了後、TAIZO+TAKEO展である大規模な仕掛けをしますが、そのデモンストレーション。いくつか修正点はありますが、この大写真展の目玉になります。ご期待ください。



昼は、ドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」メインロケ地の淀姫神社でガイド。週末はかなりの観光客の皆さんが押し寄せます。今日は福岡が多かったです。

夕方から、西川登名物の弓野の市。数百年続いている市ですが、この弓野の市が市内で最も元気のある市だと思います。ここは伝統的に竹の編み物に刃物が中心。そして、味のある狭い街路にひしめく人。



小さな弓野地区でこの賑わい。嬉しいのと同時に衝撃を受けました。去年は、別の公務で行けなかったのですが、今年は参加できて良かったです。

楼門朝市もそうですが、こういう地元の名物市に、山内、北方、武雄から、人が押し寄せるようになると、心の合併効果が加速すると思いました。

市はそういう意味で、市内の名物市の案内や特集をもっとしなくてはいけない。来年の課題です。

武雄市長物語

今回は、ブログで公開されている『武雄市長物語』より9月25日～10月25日分の中から抜粋して紹介します。

水道料金

10月16日（火）

昨日、行政専門審議会が水道料金の意見集約。

旧武雄市区域の標準世帯で月に1,123円も引き下げという内容でまとまったようです。

近く、原隆司審議会会長から、私あてに答申があります。水道料金の引き下げは、具約の最重要事項として挙げていました。しかし、正直言って、一番安い案が出てくるとは少し驚きました。第一案より高い第二案が出てくると思っていたので、財源を探し出さなくてはいいけません。



いずれにしても、この案（第一案）では、佐賀県下で最も高い水道料金が8位と大幅に落ちます。



新料金については、市民生活の維持、水道事業の持続的経営の両面を慎重に考え、私が意見集約をし、12月議会に条例案を提出、来年4月の新料金に移行し、ぬくもりのある元気な武雄市を目指したいと思っています。